

令和7年度春期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2025,7,3

4月20日(日)に行われた令和7年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、応用情報技術者試験の分析コメントをお知らせします。

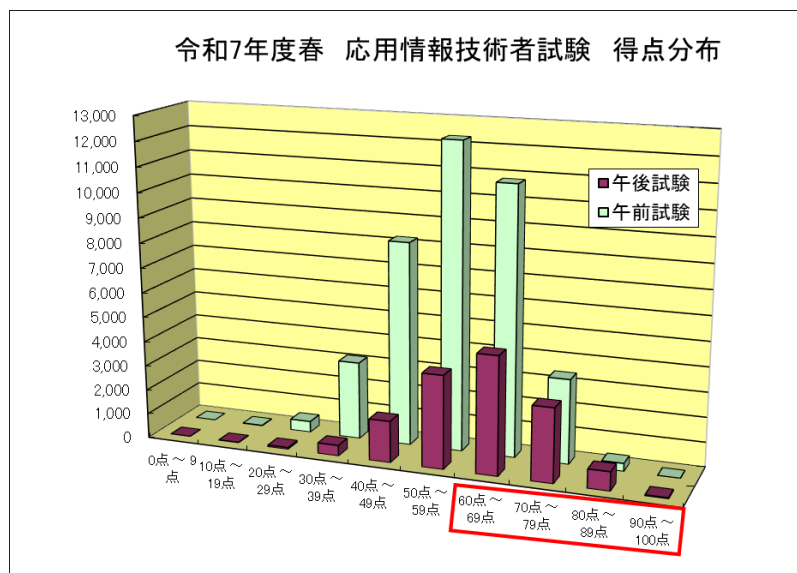
■応用情報技術者試験 (A P)

〔令和7年度春期 応用情報技術者試験 統計情報〕

応募者	58,206人
受験者	38,663人
合格者	8,527人
合格率	22.1%

今回令和7年度春期の応用情報技術者試験の合格率は22.1%で、令和になってからの合格率として最も低い結果でした。前回令和6年度秋期試験は過去最高の28.5%という結果だったので、かなり下がったという印象を受けます。発表された得点分布の分析とグラフを示します。

得点	午前試験	午後試験	合格者
0点～9点	2	8	
10点～19点	22	19	
20点～29点	445	70	
30点～39点	3,150	430	
40点～49点	8,218	1,673	
50点～59点	12,303	3,752	
60点～69点	10,792	4,749	
70点～79点	3,409	2,976	
80点～89点	318	762	
90点～100点	4	40	
計	38,663	14,479	8,527
対前試験比率		37.4%	58.9%
合格者数	8,527	採点者数の割合	合格者数との差
午前60点以上合計	14,523	37.6%	5,996
午後60点以上合計	8,527	58.9%	0



今回の令和 7 年度春期の午前試験では合格基準点の 60 点以上の人が 14,523 人で受験者の 37.6%でした。前回の令和 6 年度秋期試験の 59.0%から 20%以上も低くなっていて、高度午前Ⅱ試験の難しい過去問題と新傾向問題が多かったことが理由と考えられます。

午後試験で合格基準点の 60 点以上を超えている人（合格者）は 8,527 人で、午後試験採点者数の 58.9%にあたり、前回試験の 48.4%から 10%ほど高くなっています。出題された問題自体は例年と同じ難易度といえるので、難しい午前試験を突破した人の結果ということで、午後試験の結果もよかったと思われます。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で 50 点以上 60 点未満の人が 12,303 人（受験者の 31.8%）、午後試験で 50 点以上 60 点未満の人が 3,752 人（同 25.9%）と、どちらの試験もかなり多くの人が、合格まであと 10 点という得点ゾーンにいます。このゾーンの方は、合格点まで“あと一步”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に、早めに次の試験対策を始めてください。また、試験直前の総復習も重要です。

■令和 7 年度春期 応用情報技術者試験の出題内容

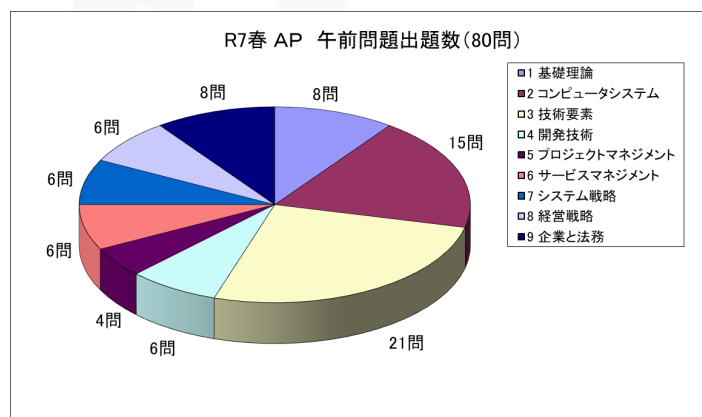
〔午前問題〕 80 問出題／80 問解答，150 分

午前試験問題の出題形式について、前回よりも考察問題がかなり増え（11 問→20 問）、文章問題が大きく減り（46 問→33 問）、計算問題と用語問題は微増でした。新傾向といえる問題は 25 問あり、前回 16 問から大きく増えています。新傾向問題の中には、高度午前Ⅱ試験の既出問題で応用情報技術者試験では出題されていない詳細な内容を問う問題も含んでいます。

過去問題の再出題が全体の 6 割強ありましたが、応用情報技術者試験の過去問題再出題は 33 問で前回の 25 問から 8 問増えました。

この他、基本情報技術者試験の過去問題が今回なく（前回 8 問）、高度午前Ⅱ試験の過去問題の出題が 18 問（前回 19 問）ありました。

高度午前Ⅱの過去問題の数は増えていませんが、これまでと違い、かなり難しい問題が出題されました。このため、午前試験全体としては、難易度が高く、難しい試験だったといえます。



〔午後問題〕 11 問出題／5 問解答（1 問は必須），150 分

今回の午後試験問題は、問 1（必須）の情報セキュリティが「サイバー攻撃への対策」という技術寄りの問題で難易度は普通でした。問 2 以降の選択問題は毎回 2～3 問難しいといえる問題がありますが、今回は問 3 のプログラミング、問 9 のプロジェクトマネジメント、問 10 のサービスマネジメントの問題がやや難しい内容でした。午後試験全体としては、従来と同じ難易度だったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験で出題される知識を確実に理解し、問題事例に知識を適用できるようになるまで、しっかり演習を行う必要があります。な

お、令和 5 年度から実施されている新しい基本情報技術者試験の科目 B（旧午後）試験がアルゴリズムとセキュリティ問題だけになり、幅広い分野から問題が出題される応用情報技術者の午後試験と大きく異なります。また、応用情報技術者試験では問題自体の難易度もかなり上がるため、基本情報技術者試験に合格して、すぐに応用情報技術者試験を受ける場合には、しっかり学習時間をかけて各分野の知識を深め、事例問題の中で知識が生かせるように問題演習を通じて、理解度を高めていく必要があります。

